## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年1月17日

協議会名: 粟島浦村地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標·効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
粟島浦村	県道ルート	・温水では、   ・温水では、   は、   は、   は、   は、   は、   は、   は、		2,700人維持(平成27年度 住民利用者数)は達成でき なかったが、平成28年度の 2,266人を維持することがで きた。平成29年度は改善検	・平成29年度に検討した平成30 年度以降実施予定の改善内容 (③に記載)を今後も推進していく。 ・高齢化等により住民利用者数 が減少傾向にあることから、温 泉事業との協働の他にも、地 区間移動の目的となるイベント を企画するなど、外出意欲を あることで利用者数増加へコミュ ニティバスの維持を図っていく。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

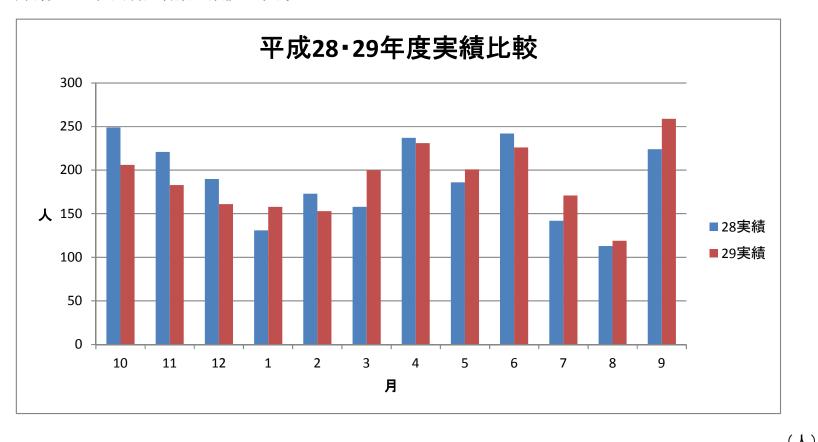
平成30年1月17日

協議会名:	粟島浦村地域公共交通協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿(事業実施の目的・必要性)	(1) 事業の目的 粟島浦村は、新潟市の北方約63km、村上市岩船港の北西約35kmの日本海に浮かぶ面積9.78km2、周囲22.3km、人口 370人(平成27年国勢調査)の孤立小型離島で、島のほとんどを山地・丘陵地が占め、漁業及び観光が基幹産業となっている。村内には、栗島と本土村上市岩船港を結ぶ定期船乗り場、栗島・ 大村俊場、小中学校を始めとする主要な公共公益施設が立地する東海岸の内浦地区と、山地を挟んで西海岸に位置する釜谷地区の2集落がある。また、内浦地区の粟島港と本土村上市岩船港を結ぶ唯一の栗島離島航路は、定期航路として高速船とフェリーの2隻が試航している。本村は無医村のため、医師の治療を必要とする住民は本土の医療機関に通院することになり、栗島離島航路は重要な地域間交通となっている。こうした離島としての特性をもった本村の「定性環境の確保」及び「産業振興の推進」に向けた地域づくりの課題に対島にしたり、投入を通路といる。大学の大学では、東京に下海島としての特性をもった本村の「定性環境の確保」及び「産業振興の推進」に向けた地域づくりの課題に対島にしたの特性をもった本村の「定性環境の確保」及び「産業振興の推進」に向けた地域づくりの課題に対島流した。した、観光を通路とは、15日の大学、東京浦村地域公共交通協議会」における協議を経て平成21年3月、『粟島浦村地域公共交通総合連携計画」を策定した。本事集は「栗島浦村地域公共交通協議会」における協議を経て平成21年3月、『粟島浦村地域公共交通総合連携計画」を策定した。本事集は「栗島浦村地域公共交通協議会が衛保維持を推することとと目的とする、「中成28年度から本土村上市中心部における陸上交通は、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金を活用しておらず、補助金評価対象には含まれない。) (2)事業の必要性 1)島内交通の確保維持 本村の観光振興を図る上でのネックともなっていた。また、観光をも村内のキャンブ場等への移動に苦虚しており、本村の観光振興を図る上でのネックともなっていた。また、観光をも村内のキャンブ場等への移動に苦虚しており、本村の観光振興を図る上でのネックともなっていた。また、観光をも村内のキャンブ場等への移動に苦虚しており、本村の観光を背景として、地域公共交通協議会での協議を経て、市町村運営有償運送によるコミュニティバスの実証運行を平成21年度とり3カ年度になるとともにスクールバスも兼線関帯では合いるより、発見とあっていく必要がある。 2)岩船港へ対上市中心部間交通の確保維持 経路と関がりたい、路線の推算・確保を図っていく必要がある。 2)岩船港で対航路と接続し、島内移動手段になるとともにスクールバスも兼なの地域関帯であり、住民を設めは、定域と表の機関であり、路線の推算・確保を図っていく必要がある。これを表演するため、地域公共交通協議会での協議を経て、岩船港で定期航路と接続して村上市中心部と結ぶ乗合から本台運行を開始している。これを経済するに、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金を活用しておらず、補助金評価対象には含まれない。)

## 平成29年度生活交通確保維持改善計画期間の粟島航路輸送実績(平成28年10月から平成29年9月)

平成30年1月17日

※以下、目標とした住民利用者数の数値である。



													(人)
年度/月	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	年度計
28実績	249	221	190	131	173	158	237	186	242	142	113	224	2266
29実績	206	183	161	158	153	200	231	201	226	171	119	259	2268
29計画				$\setminus$				$\setminus$	/	$\setminus$			2700